

平成 28 年度草の根育成助成 助成事業紹介

分野	医療・福祉分野
事業名	就労継続支援 B 型事業所（リサイクルショップ）開設に向けた事業調査
団体名	特定非営利活動法人 VIVID
実施場所	新宿区内
地域の課題	<p>高次脳機能障害者の居場所(月 2 回)づくりを 9 年実施してきましたが、就労支援事業所は新宿区内にまだ設置されていません。当事者の増加とともに、「就労」に向けた支援施設が必要。</p> <p>(詳細) 区内の障害者の就労支援施設は就労移行支援 12 所、就労継続支援 A 型 2 所、B 型 12 所の合計 26 所です。それらは身体、知的、精神の障害者施設であり、高次脳機能障害者がなじめる施設となっておりません。当事者の障害特性が外見からは解りにくいため、支援方法の違いによる不調和が原因です。しかし、受傷から数年経過した当事者の目標は就労であり、その入り口を開いていく社会資源の設置が急務であり、次のステップに向かう通所施設の設立が当事者家族に待望されています。</p>
事業紹介	<p>1. 事業計画の策定会議 リサイクルショップの経営者、就労継続支援事業運営経験者、その他福祉事業経営経験者から話を聞き、店舗確保に向け、場所、資金、広報についての調査計画を作成します。売れ筋・客層などの調査のため、ガレージセールを行い、調査結果は、事業所計画策定するプロジェクト会議に提出します。事業内容を決定し、情宣活動を開始します。</p> <p>2. 事業調査報告書作成 報告書を作成します。</p>
担当者コメント	<p>来年の始業を目指し、就労支援事業として取り組める事業として、何が良いか、どんな法人格で取り組めばよいか、経験者からお話を聞いたり、ガレージセールをしながら事業の可能性を模索しています。</p>
団体紹介	<p>突然の事故や病気で脳を損傷したことでおこる高次脳機能障害は、事故や病気の苦痛に加え、仕事や学業、日常生活等に困難を生じさせています。VIVID は、高次脳機能障害があっても、当事者が人生をあきらめずに、希望をもっともう一度人生のスタートラインに立つことができるような支援を創りだしていきたいと設立した NPO です。「なんでも相談」、高次脳機能障害相談支援、ミニデイなどの事業を行っています。</p>